



【戦評シート】

平成 16 年 5 月 2 日 (日)	協会名： 能代市 バスケットボール協会	
場 所： 能代市総合体育館	記入者： 長浜 中	
チームA 新潟商業高校 76	$\left. \begin{array}{l} 17-28 \\ 16-24 \\ 24-29 \\ 19-11 \end{array} \right\} 92$	チームB 市立船橋高校

スターター	チームA： ④佐々木、⑤小沢、⑥店橋、⑦斉藤、⑩坂上
	チームB： ⑤吉本、⑥中村、⑦福田、⑨西薨、⑩鈴木
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

第1Q、市立船橋は立ち上がりから#5吉本のドリブルインや3Pを含む4連続得点。新潟はファーストブレイクからの#4佐々木のアシストにより、#5小沢、#6店橋のシュートで応戦。身長差から、なかなかゴール下での得点ができない新潟に対し、ポストプレーやファーストブレイクで確実な得点を重ねる市立船橋が1Qを28-17でリード。

第2Q、ターンオーバーが多くなった新潟に対し、市立船橋#8高橋の3Pや#12 築瀬、#13 安藤のシュートが決まる。新潟も#17 小林(和)、#4佐々木のシュートで応戦するが、しだいに差が広がり、前半は新潟33-52市立船橋で終了。

第3Q、新潟は1年生コンビ#15 小林(純)と#小林(和)を中心に得点を重ねるが、市立船橋#8高橋、#12 築瀬、#13 安藤のシュートが高い確率で決まり、新潟57-81市立船橋で終了。

第4Q、得点差は縮まらず時間が経過。残り4分には市立船橋は、メンバーを全員交代させる余裕を見せ、新潟76-92市立船橋で試合終了。

高さを生かしたポストプレーやディフェンスのカバーリングが光る市立船橋に対して、1年生の活躍で今後の成長が楽しみな新潟商業の好ゲームであった。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。